

平成24年第1回嬉野市議会定例会

一般質問通告書

嬉野市議会

平成24年第1回嬉野市議会定例会一般質問通告書

発言 順番	議席 番号	質問者氏名	質 問 事 項 及 び 要 旨	頁番号
1	16	平野 昭義	1 シーボルトの湯と観光対策について	1
			2 税金の収納対策について	
			3 地域づくり・結婚支援課の現況と課題について	
2	5	山口 政人	1 農業の六次産業化について	3
			2 職員の再任用制度について	
3	8	梶原 睦也	1 うつ病対策について	4
			2 市営住宅について	
			3 武道・ダンスの必須化について	
4	12	織田 菊男	1 嬉野市人口減少対策について	6
			2 農業集落排水事業について	
			3 嬉野下宿塩田線について	
5	7	大島 恒典	1 人口減少問題について	8
			2 市内における道德教育の取り組み状況について	
			3 水道事業について	
			4 公共施設におけるの駐輪場について	
6	10	副島 孝裕	1 伝承芸能を保存・継承していくための支援策について	9
			2 再生可能エネルギーの導入促進について	
7	4	山下 芳郎	1 ジェネリック医薬品（後発医薬品）の普及と医療費削減について	10
			2 源泉集中管理について	
			3 第二笹屋跡地の活用について	
			4 震災地のがれき処理と市民へボランティア支援の募集について	
8	1	辻 浩一	1 観光箇所の周辺整備について	11
			2 家畜伝染病発生後の対応について	
9	14	田口 好秋	1 行財政改革集中プランについて	12
			2 国道498号バイパス案について	
			3 楠風館の楠について	
			4 道の駅について	

平成24年第1回嬉野市議会定例会一般質問通告書

発言 順番	議席 番号	質問者氏名	質 問 事 項 及 び 要 旨	頁番号
10	11	田中 政司	1 大野原の産業廃棄物処理場について	13
			2 観光問題について	
			3 茶の品評会対策について	
11	3	田中 平一郎	1 今後の行財政運営にかかる市長の方針について	14
			2 農業集落排水事業の進捗状況について	
			3 橋の点検状況について	
12	13	神近 勝彦	1 行政改革・消費税増税について	16
			2 農地・水・環境保全について	
			3 湯けむりについて	
13	15	西村 信夫	1 農業集落排水・コンポスト化による農地還元について	18
			2 介護支援ボランティア事業について	
14	17	山口 要	1 総務問題について	19
			2 企画・観光関連について	
			3 教育問題について	
15	6	小田 寛之	1 市有の処分場について	22
一般質問日程		3月8日	平野昭義、山口政人、梶原睦也、織田菊男、大島恒典	
		3月12日	副島孝裕、山下芳郎、辻 浩一、田口好秋、田中政司	
		3月13日	田中平一郎、神近勝彦、西村信夫、山口要、小田寛之	

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第6 1条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成24年2月17日

通告者(議席番号 16番)

平野昭義

嬉野市議会議長 様

記

	質 問 の 事 項	質 問 の 要 旨 (具体的に)
市長	シーボルトの湯と観光対策について	<p>大正時代に建築された洋風館「古湯温泉」は、そのロマンを蘇らせ、平成22年4月シーボルトの湯として再建されました。</p> <p>車社会の中で、駐車場の不便さなどにより客は減少し、今後の運営が危惧されていたが、すぐ近くに2ha.の駐車場が確保され、湯治に通われるお客様には朗報で、駐車場完備後は来客増が期待されます。</p> <p>また、嬉野温泉街は情緒がないとよく耳にしますが、駐車場完備を期に今年を「シーボルトの湯元年」と位置づけ、温泉街として原点に立ち戻り、観光商工課は観光協会とともに協力して観光客増加対策に取り組むべきでないか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 源泉の集中管理は、6年前からリーディング事業で提案されてきたが進展がない。観光客増を目指すなら、共存共栄の団結心を持って真剣に協議に取り組むべきではないか。 2 23年度予算で、観光費は1億300万円、観光施設費4千万円であり、関係補助金も多額である。過大な税金に頼らず「汗を流し」再興に努力すべきでないか。 3 観光商工課は、観光協会とともに温泉地としての発展のため、先進地等についてもっと学ぶべきではないか。 4 駐車場完備の周知方法について具体策は考えているのか。 5 シーボルトの施設内で出前による飲食はできるが、他に【もう一度行きたい】と思われる利便性の高いサービスは考えられないか。

		<p>6 1月11日嬉野中3年生の総合学習発表は、未来における観光を目指した素晴らしい内容であった。子ども達が研究した素材を活かし、金銭のかからない観光施策について、協議していく考えはないか。</p> <p>7 観光商工課も観光協会も、有明海の産物や日本3大稲荷等の資源を生かし、宿泊客に旬を味わう憩いの場として市内の旅館を中心に連携し観光施策を実施すべきと考えるがいかがか。</p> <p>8 他の観光地と比較して、本市への修学旅行客が少ないと聞くが、観光協会と連携して調査されたことはあるのか、また、その要因はなにか伺う。</p>
市長	税金の収納対策について	<p>平成16年度、固定資産税の収入未済額は4億5500万円である。その後徴収対策はどのように行ってきたのか。</p>
市長	地域づくり・結婚支援課の現況と課題について	<p>平成23年7月地域づくり・結婚支援課が設置され、担当課は精力的に活動されていると聞くが、晩婚化が進む今日推進に当たっては多くの課題が山積していると考ええる。</p> <p>8ヶ月経過した今日までの経過と今後の問題点について伺う。</p> <p>1 地域づくり・結婚支援課への登録の公募実績とその対策について、計画に沿った推進が行われてきたか。</p> <p>2 隣接市の公募方法も研究してきたか。</p> <p>3 伊万里市、武雄市との交流イベントなどは考えているか。</p> <p>4 地域の集会や、コミュニティ組織の代表者などとの連携は考えているか。</p> <p>5 太良町はテレビを活用したイベントを企画されているが、地域づくり・結婚支援課は、他市との連携など具体策は考えているか。</p> <p>6 武雄市では、担当嘱託職員に報酬月額8万円に成立1件当たり3万円が奨励加算されている。本市では、現在職員による取り組みがなされているが、嘱託職員制度の導入は考えられないか。</p>

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第6 1 条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 24 年 2 月 17 日

通告者(議席番号 5 番)

山 口 政 人

嬉野市議会議長 様

記

NO.1

質問の相手	質 問 の 事 項	質 問 の 要 旨 (具体的に)
市 長	農業の六次産業化について	<p>1 農業を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化、さらに少子高齢化による人口減も重なって、農業者及び農業関係機関にさまざまな努力は見られるものの、いまだ長い低迷から抜け出せずにいる。</p> <p>以前から、足腰の強い農業を構築して、さらに農産物に付加価値をつけることで、経営の安定化を図り、農業の発展につなげるべきだと言われているが、現実には厳しい状況である。</p> <p>そこで、平成23年3月1日施行となった、通称「六次産業化法」の意義や必要性について市としてどのように認識しているのか、又、六次産業化が必要ということであれば、今後その具体策としてどのような政策を想定しているのか伺う。</p>
市 長	職員の再任用制度について	<p>1 この制度は、地方公務員法等の改正で平成13年に施行となり、市もこの制度を導入している。この改正法の趣旨は、年金の満額支給開始年齢が段階的に引き上げられるため、高齢社会対策というのが一番の目的だったが、もうひとつは退職者の能力、知識、技術、ノウハウの伝承も期待されるということで導入されたと思う。本当にそのとおりに実現しているのか、又、再任用職員のいる職場環境はどのような雰囲気なのか伺う。</p>

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 24 年 2 月 17 日

通告者(議席番号 8 番)

梶原睦也

嬉野市議会議長 様

記

NO1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨 (具体的に)
市長	うつ病対策について	<p>近年、社会構造の変化に伴い社会全体にストレスが蔓延し、うつ病など心の病が急激に増加している。日本精神神経学会など4学会の共同宣言によると、「うつ病をはじめとする精神疾患は、先進諸国では、ガンや心臓疾患と並ぶ三大疾患で、その対策は国家政策の最優先課題でありわが国でも、ガンに次いで重大な社会的損失をもたらし、国民病とも言うべき疾病である。」とされている。</p> <p>また、自殺の原因の65%を占める健康問題のうち40%以上がうつ病との報告もある。</p> <p>そこで、以下の対策を早急に講じるべきと考えるが市長の見解はいかがか。</p> <ul style="list-style-type: none">①予防対策として、知識の周知、相談窓口の設置②早期発見、早期治療の徹底③リハビリ、復職支援対策
市長	市営住宅について	<p>市内には8箇所市営住宅があるが以下の市営住宅の運営について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none">①各市営住宅の内、建て替えの検討をされている住宅はあるか。②今後、集合住宅建設の予定はないのか。③民間アパートとの競合についての考えは。④厚生住宅の今後の整備計画について

質問の相手	質問の事項	質問の要旨(具体的に)
<p>教 育 長</p>	<p>武道・ダンスの必須化について</p>	<p>本市では武道の授業については、すでに一部取り組まれているが、24年度から中学校において武道とダンスの必須化が本格的に始まる。</p> <p>特に武道に対しては、授業中の事故の発生など、安全面について大きな反響を呼んでいる。</p> <p>本市においては尚一層の安全対策を講じて取り組んでいただきたい。</p> <p>今後、各中学校において武道・ダンスについて具体的にどのように取り組まれるのか伺うとともに安全対策についてはどのように配慮されるのか伺う。</p>

一般質問通告書

様式1号

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 24 年 3 月 20 日

通告者（議席番号12番）

織田 菊男

嬉野市議会議長 様

記

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	嬉野市人口減少対策について	<p>合併して約6年が過ぎたが、合併時約3万400人の人口が、現在約2万8500人になり、毎年300人以上が少なくなっている。</p> <p>市長は、嬉野市の人口減少に対してどのような考えを持っているか。現在、どのような対策を考えて実行されているか。以下の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">1 嬉野市における人口増対策について2 市役所内での各課の対策について3 民間に対しての働きかけについて4 市民の動きはあるのか5 他市町の動きはあるのか6 他市町との連携は考えているのか7 人口減に対して参考になるような事例はないのか
市長	農業集落排水事業について	<p>五町田谷所地区の農業集落排水事業は、平成23年4月1日から一部のみの供用開始となっている。</p> <p>最初の計画では23年度に完成と聞いていたが、どのような理由で1年遅れたのか。以下の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">1 平成24年4月1日より使用が出来る準備はできているのか。2 現在、地区により接続率の差があるが、それをどう考えているか。3 接続率向上のため現在行われている対策は何か。4 五町田、谷所地区の接続は、今まで以上に厳

<p>市長</p>	<p>嬉野下宿塩田線について</p>	<p>しいと考えるが、この件に対してどの様に考えているか。</p> <p>5 今回は今までなかったコンポストが建設時の条件となっているが、進捗状況は。</p> <p>6 コンポストに対しての市長の考えは。</p> <p>7 コンポストの利用方法、又、処理方法は。</p> <p>嬉野下宿塩田線の未登記については、何回も質問したが、以前、質問した時には、「嬉野の未登記を今行っている。嬉野町より取り掛かって塩田町の未登記に取り掛かる。」と答弁された。以下の進捗状況について伺う。</p> <p>1 嬉野町の未登記は。</p> <p>2 塩田町の未登記は。</p> <p>3 五町田地区大黒丸地区の未登記は。</p>
-----------	--------------------	--

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成24年2月22日

通告者(議席番号 7番)

大島恒典

嬉野市議会議長 様

記

NO

質問の相手	質問の事項	質問の要旨(具体的に)
市長	人口減少問題について	<p>日本国内や九州内での人口変動の推計が相次いで公表され、佐賀新聞の2月6日の紙面では佐賀県内の各自治体における2035年までの推計人口が公表されていた。予想はしていたが嬉野市にとっても大変に厳しい数字である。</p> <ol style="list-style-type: none">嬉野に限った問題ではないが、この記事に対する市長の所見を伺う。若者の流出を防ぐには、雇用の創出が重要課題である。今後の方針を伺う。定住人口を増加させるために行ってきた定住奨励金制度について、今後の市としての考えを伺う。
市長 教育長	市内における道徳教育の取り組み状況について	<p>小学校においては23年度から、中学校においては24年度から「新学習指導要領」により学習指導が行われる。今回の改正された指導要領では「生きる力」を打ち出し道徳の授業にも力を入れていくとしているが、市内の取り組み状況について伺う。</p>
市長	水道事業について	<p>今年4月より、嬉野・塩田の水道料金が統一されることになり合併後の懸案事項が一つ解決するが、塩田地区においては未接続地区や井戸水の使用などで水道水の使用量が依然低い状況である。このことは、水道事業の運営に対して重要な問題であると思うが今後の使用量増加に向けた取り組みを伺う。</p>
市長	公共施設における駐輪場について	<p>市内の公共施設を見まわした時に二輪車の駐車場(スペース)が設置されていない状況である。今後の設置に対しての考えを伺う。</p>

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 24年 2月 22日

通告者(議席番号 10番) 副島孝裕

嬉野市議会議長 様

記

NO

質問の相手	質問の事項	質問の要旨 (具体的に)
市長 教育長	伝承芸能を保存・継承していくための支援策について	<p>嬉野市には、県指定重要無形民俗文化財の「両岩の小浮立」をはじめ面浮立、踊浮立、鉦浮立、猿浮立、獅子舞、大名行列など多くの伝承芸能が各地に伝え受け継がれている。</p> <ol style="list-style-type: none">1 少子高齢化が進む中、後継者の育成が大きな課題となっているが、現在、どのような支援策が講じられているか。2 今後、伝承芸能を保存・継承していくための新たな支援策は考えられないか。3 後継者づくりの手段として、保育園や学校等での学習機会を活かした伝承芸能の取り組みは考えられないか。4 社会文化体育館の開館記念として、毎年継続できるような「嬉野市伝承芸能フェスティバル」の開催企画を提案したいと思うがいかがか。
市長 教育長	再生可能エネルギーの導入促進について	<ol style="list-style-type: none">1 小水力発電基礎調査業務の進捗状況について伺う。2 嬉野市は、メガソーラー設置運営事業者の募集に応募したが、今後どのような手順で進んでいくのか。また、嬉野市におけるメガソーラー設置導入によるメリット・デメリット及びリスクについて伺う。3 再生可能エネルギーについて、学校等の学習機会において今後どのように取り組まれるか。

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 24年 2月 22日

通告者(議席番号 4番)

山下芳郎

嬉野市議会議長 様

記

質問相手	質問の事項	質問の要旨
市長	1 ジェネリック医薬品(後発医薬品)の普及と医療費削減について	<p>医療費が削減されれば国民健康保険税の歳出減に繋がると考えるので、ジェネリック医薬品の普及を積極的に推進すべきではないかと思うが、市長の考えを伺う。</p> <p>①国民健康保険税の今後の見通しを伺う。</p> <p>②当市のジェネリック医薬品の普及率は如何か。</p>
市長	2 源泉集中管理について	<p>①進捗状況と市長の本年度に懸ける思いを伺う。</p> <p>②湯河原温泉等源泉の集中管理を行っている所を参考例として検討したか伺う。</p> <p>③合併特例債の期限からして、今年中に方針を固めない間に合わないと思うが、目途はどうか。</p> <p>④賛同者だけでも、推進に向けての協議をすべき時期ではないか</p>
市長	3 第二笹屋跡地の活用について	<p>第二笹屋跡地を駐車場だけでなく、誘客に繋がる活用法を検討すべきではないか考える。嬉野市民が参加できるイベント、物産市など考えられないか。また、源泉を冷却するタンクの設置は考えられないか。</p>
市長	4 震災地のがれき処理と市民へボランティア支援の募集について	<p>間もなく1年を迎える震災地への支援について</p> <p>①震災地の復興・復旧にがれきの処理が進まない事が大きな要因となっているが、岩手県・宮城県のがれきの安全性が確認できた時の処理受け入れについて市長の考えを伺う。</p> <p>②市民へボランティア要員を募って支援するつもりはないか伺う。</p>

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成24年2月23日

通告者(議席番号 1 番)

辻 浩 一

嬉野市議会議長 様

記

NO

質問の相手	質問の事項	質問の要旨 (具体的に)
市長	観光箇所の周辺整備について	<p>嬉野市の経済浮揚のためには、観光業の再生が急務だと考えるが、長い景気低迷や時代の変化により観光形態も変化している。そこで市としてもお客様のニーズに対応すべく色々な施策を打ち出されている。</p> <p>その中で観光スポットの開発、整備も重要だと思うが、整備を進めるにあたってお客様への配慮、地元への配慮などをどう考えていくのか伺う。(特に春日溪谷について)</p> <ol style="list-style-type: none">1 トイレ整備2 案内板3 離合場所
市長	家畜伝染病発生後の対応について	<p>現在、嬉野市はインバウンド事業として海外からの誘客に力を入れているが、以前の質問にあったように口蹄疫が懸念される国からのお客様も多い。しかし、今後も観光業の浮揚のためには誘客を進めていかなければならない。発生した場合の畜産農家の経済的損失もさることながら、観光立市の嬉野としては風評被害による市全体の経済的打撃は計り知れないものがある。22年の宮崎県の発生を受け、予防に万全を期されていると思うが、発生後の対応について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">1 消毒薬の備蓄はできているか2 消毒ポイント設定3 道路封鎖の手順

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成24年2月24日

通告者(議席番号 14 番)

田 口 好 秋

嬉野市議会議長 様

記

NO

質問の相手	質 問 の 事 項	質 問 の 要 旨 (具体的に)
市 長	行財政改革集中プランについて	<p>昨年9月議会でこの問題について質問したが、その時回答が無かった分も含め、今回次の事について伺う。</p> <p>(1) 平成22年まで5年間の第1次の財政効果額はいくらか。</p> <p>(2) 平成23年度以降5年間の財政効果額の目標額。</p> <p>①削減目標額と主な項目</p> <p>②市税等歳入増を見込まれた事項があれば、その項目と目標額。</p> <p>(3) 人件費について市長の考えを伺う。</p> <p>(4) 基金について、市長の考えを伺う。</p>
市 長	国道498号バイパス案について	<p>国道498号、南下久間・町分地区の改良工事は、ここ10数年来全く進展が無い。ここを通学する児童にとっては大きな問題である。改良工事の進展が望めないなら、以前一般質問で提案したが、この地区を通らないバイパス案を県に強く働きかけ、早期に問題解決をはかるべきと思うが、市長の考えを伺う。</p>
市 長	楠風館の楠について	<p>昨年9月議会で質問したが、楠の移植についてはどうなっているのか伺う。</p>
市 長	道の駅について	<p>道の駅は全国各地に23年8月現在で977箇所の施設が整備されている。</p> <p>嬉野市内を縦断する国道498号は交通量も多く、特に休日ともなれば市外はもとより他県ナンバーの車両の通行が目立つ。</p> <p>また、通行される市外の方から話を聞くと、特定した行き先を決めずドライブをされている方が多くいらっしゃる。</p> <p>嬉野の集客の重要性や買い物弱者対策及び地域振興を考えた場合、武雄方面からの玄関口とも言える国道498号沿いの志田焼の里博物館に隣接する場所に観光案内所、更に嬉野市の物産を販売できる道の駅の整備を検討できないか。</p>

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第6 1 条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 24年 2月 24日

通告者(議席番号 11 番)

田中 政司

嬉野市議会議長 様

記

NO

質問の相手	質 問 の 事 項	質 問 の 要 旨 (具体的に)
市 長	大野原の産業廃棄物処理場について	① 大野原地区に民間の産業廃棄物処理場があるが、現在はほぼ満杯状態である。業者は今後、処理場の拡大を隣接地へ計画されていると聞くが市の対応はどうか。
市 長	観光問題について	① 観光客の入込数は、昨年は大震災の影響などでかなり厳しかったようだが、24年に入ってから昨年よりも増えていると聞く。市の基幹産業としての観光産業の発展には、官民一体となった取り組みが必要であり、それを強化するための組織として、観光商工課と観光協会が一体となった組織(県でいえば観光連盟)を立ち上げるべきと提案してきたが、その後どうなったのか。 ② シーボルトの湯の駐車場が施設から近くなり、利用者も大幅にアップしていると聞く。今後の駐車場利用計画をどう考えているのか。
市 長	茶の品評会対策について	① 昨年の全国茶品評会においては、3年連続の産地賞受賞という素晴らしい成績であった。今年度より全国茶品評会の出品要綱が変わると聞くが、その内容とそれに対する市の対策はどうするのか。

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第6 1 条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 24年 2月 24日

通告者(議席番号 3番) 田中 平一郎

嬉野市議会議長 様

記

NO

質問の相手	質 問 の 事 項	質 問 の 要 旨 (具体的に)
市 長	今後の行財政運営にかかる市長の方針について	<p>平成18年1月に塩田町及び嬉野町の2町が合併し、6年が経過した。</p> <p>市では合併効果を最大限に高め、健全で効率的な自治体運営を確立させることを目的に平成19年3月に事務事業の見直し、民間委託の推進、定員適正化などをテーマに「行財政改革大綱」及び「集中改革プラン」を策定し、これに基づき積極的な行財政改革に取り組んできた。その結果、市民サービスの向上と効率的な行財政運営の実践など一定の成果をあげることができた。</p> <p>しかし、市を取り巻く環境は厳しく、税収及び地方交付税の減少、国庫補助金の不透明さ、社会保障費負担の増加などまだまだ予断を許さない状況に在る。</p> <p>この様ななか、今後の市の行財政運営について、市長の方針を伺う。</p> <p>① 合併後の税の徴収率について ② 固定資産税について ③ 国民健康保険税について ④ 市民税、住民税について</p>
市 長	農業集落排水事業の進捗状況について	<p>平成24年4月から五町田、東部地区の農業集落排水事業の供用開始予定になっているが、以下の点について伺う。</p> <p>① 排水機場の工事の進捗状況について ② 接続率について ③ 平成23年度嬉野市農業集落排水資源循環統合補助事業の五町田谷所地区汚泥資源循環施設建設工事の工期について</p>

質問の相手	質問の事項	質問の要旨(具体的に)
市長	橋の点検状況について	<p>近年、国内外で橋の崩落のニュースが報じられている。その原因については、単に長年放置し老朽化したということではなく、設計上や施工上の不備や予想しなかった損傷等で竣工からそれほど年数が経っていないにもかかわらず崩落することもあると聞く。</p> <p>住民の安全な通行を確保するには、橋の安全点検を実施し予防的に補強を行うことが必要であると考えます。</p> <p>現在、市が管理している橋の設置状況と本年度の点検状況について伺う。</p> <p>① 橋の点検や診断等については、専門の民間業者に委託できないか。</p> <p>② 現在の市の対応はどうしているのか。</p>

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第6 1 条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 24年 2月 24日

通告者(議席番号 13番)

神 近 勝 彦

嬉野市議会議長 様

記

NO 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨 (具体的に)
市長	行政改革・消費税増税について	<p>政府は消費税を2015年10月に10%とする方針で進めている。増税分は社会保障の財源とするということであるが、これからの嬉野市の社会保障がどうなるのか。また、増税と行政改革に対する考えを聞く。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢化が進んでいく状況のなか、5年後、10年後の嬉野市の社会保障の予測はどうか。また、現在の財源をベースに対応する場合の予算編成はどうか。 2. 増税となった場合は、1.54%が地方消費税に上乗せされる見込みだが、嬉野市に入ってくる金額の予想はどの程度か。 3. 政府は増額分全てを社会保障の財源とするとのことであるが、地方分もそのようになるのか。 4. 市長の増税に対する考えはどうか。 5. 世論調査を見ると、過半数近くは増税やむなしとの考えであるが、国や国会議員がまず無駄の削減や定数削減などに取り組むべきとの意見がほとんどである。この点についてどう思うのか。 6. 政府は増税にむけて、国民の理解を得るために市町村長に広報紙などを通じて説明することを求めたいとの記事があったが、どうなっているのか。 7. 社会保障・税一体改革が閣議決定され、週末に全国で意見交換があっているがどう思うのか。また、改革の中身はどう評価するのか。

質問の相手	質問の事項	質問の要旨(具体的に)
市長	農地・水・環境保全について	<p>農地・水・環境保全に取り組まれている地区では、概ね良い評価をされていると思うが、書類作成の難しさや対象事業の制約など課題もある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 取り組まれている地区からの要望はないか。取り組みをやめた地区の理由はなにか。 2. 書類作成の難しさを各地区から聞いているが、コミュニティの事務局に書類作成業務を委託できないか。
市長	湯けむりについて	<p>湯けむり広場が整備され街の玄関口がきれいになった。しかし、湯けむりが見えづらいとの意見も聞く。また、循環で温水をまわしているので、加熱する燃料代が大きいなど課題もある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 隣の建物との間に、ある程度の高さの黒くぬった板塀を作ることで景観もよくなるし、湯けむりも見えやすくなるのではないか。 2. ボイラーの燃料代が大きいと聞くが太陽熱温水などを併用できないのか。 3. シーボルトの湯の玄関口にある、湯けむり放出の装置はなぜ稼働できないのか。

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第6 1 条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 24年 2月 24日

通告者(議席番号 13番)

神 近 勝 彦

嬉野市議会議長 様

記

NO 1

質問の相手	質 問 の 事 項	質 問 の 要 旨 (具体的に)
市 長	行政改革・消費税増税について	<p>政府は消費税を2015年10月に10%とする方針で進めている。増税分は社会保障の財源とするということであるが、これからの嬉野市の社会保障がどうなるのか。また、増税と行政改革に対する考えを聞く。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢化が進んでいく状況のなか、5年後、10年後の嬉野市の社会保障の予測はどうか。また、現在の財源をベースに対応する場合の予算編成はどうか。 2. 増税となった場合は、1.54%が地方消費税に上乗せされる見込みだが、嬉野市に入ってくる金額の予想はどの程度か。 3. 政府は増額分全てを社会保障の財源とするとのことであるが、地方分もそのようになるのか。 4. 市長の増税に対する考えはどうか。 5. 世論調査を見ると、過半数近くは増税やむなしとの考えであるが、国や国会議員がまず無駄の削減や定数削減などに取り組むべきとの意見がほとんどである。この点についてどう思うのか。 6. 政府は増税にむけて、国民の理解を得るために市町村長に広報紙などを通じて説明することを求めたいとの記事があったが、どうなっているのか。 7. 社会保障・税一体改革が閣議決定され、週末に全国で意見交換があっているがどう思うのか。また、改革の中身はどう評価するのか。

質問の相手	質 問 の 事 項	質 問 の 要 旨 (具体的に)
市 長	<p>農地・水・環境保全について</p> <p>湯けむりについて</p>	<p>農地・水・環境保全に取り組まれている地区では、概ね良い評価をされていると思うが、書類作成の難しさや対象事業の制約など課題もある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 取り組まれている地区からの要望はないか。取り組みをやめた地区の理由はなにか。 2. 書類作成の難しさを各地区から聞いているが、コミュニティの事務局に書類作成業務を委託できないか。 <p>湯けむり広場が整備され街の玄関口がきれいになった。しかし、湯けむりが見えづらいとの意見も聞く。また、循環で温水をまわしているので、加熱する燃料代が大きいなど課題もある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 隣の建物との間に、ある程度の高さの黒くぬった板塀を作ることで景観もよくなるし、湯けむりも見えやすくなるのではないか。 2. ボイラーの燃料代が大きいと聞くが太陽熱温水などを併用できないのか。 3. シーボルトの湯の玄関口にある、湯けむり放出の装置はなぜ稼動できないのか。

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 24 年 2 月 24 日

通告者(議席番号 15 番)

西村信夫

嬉野市議会議長 様

記

NO

質問の相手	質問の事項	質問の要旨 (具体的に)
市長	農業集落排水・コンポスト化による農地還元について	<p>24年度から、し尿処理で発生する汚泥を発酵させ有機肥料に変換して農地還元する計画であるが、今後の計画を伺う。</p> <p>① 3地区と五町田・谷所(現在の接続)で1カ月の汚泥発生量と肥料数量を示されたい。</p> <p>② コンポスト製品の肥料登録・販売計画などを伺う。</p>
市長	介護支援ボランティア事業について	<p>杵藤地区管内で第5期介護保険料の基準月額を4,902円となり現行と比べ13.6%、588円引き上げた。高齢化が進み介護需要は増加している。</p> <p>① 元気な高齢者が介護施設などでボランティア活動をした場合、介護奉仕にポイント制で現金や特産品と交換できる事業である介護支援ボランティア事業に取り組まれたらどうか。</p>

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 24 年 2 月 24 日

通告者(議席番号 17 番)

山口 要

嬉野市議会議長 様

記

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	総務問題について	<p>地方分権推進委員会の勧告を基にした義務付け、枠付けの見直しや権限移譲がいよいよ実施段階になった。今後、地方自治体においては、その実施の活用も含めて新たな自治体運営の努力が必要になってくる。</p> <ol style="list-style-type: none">市長の行政運営に対する考えについて<ol style="list-style-type: none">平成24年度運営における所見を問う。今回の改正案のなかで市町村基本構想の制定が必要でなくなる。このことについてどう考えるか。現在実施されている各種の基本・整備計画についても見直しが必要ではないか。新しい公共や、新しい公務員像について<ol style="list-style-type: none">公務員が仕事プラスワンとして地域活動や社会貢献活動をすることが求められるなかで、本市における職員の活動状況はどうか。各種研修会に参加した際、他の参加者とのネットワーク作りを図り、その後の職務に活用されている事例はあるか。「地域に飛び出す公務員ネットワーク」や「地域に飛び出す公務員を応援する首長連合」なる組織について把握をし、検討された経緯があるか。職員派遣について<ol style="list-style-type: none">総務省は2012年度から、東京、大阪、愛知の三大都市圏に拠点を置く企業の若手職員を市町村に派遣する事業に乗り出している。本市も次年度に向けて手を挙げてはどうか。

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長		4 休日開庁について ① 本市では年度末・始めの土・日曜日での窓口開庁が実施されているが、利用者の実態はどうか。 ② 唐津市は4月より、日曜日の午前中に限って開庁が始められる予定である。本市で検討の余地はないか。
市長	企画・観光関連について	1 各所広場問題について ① 第二笹屋跡地活用について、今後の進め方はどのように考えているか。 ② 湯宿広場の足湯工事が着々と進捗しているが、周辺住民から要望があっていたトイレ設置についてはどうするのか。 ③ 湯けむり広場について前回の一般質問でも指摘されていたが、未だ市民の間でかなりのクレームがでている。周辺樹木の植栽等見直す考えはないか。 2 観光誘致について ④ 他自治体からの視察観光は昨年度かなりの効果がでた。本年度も早急に案内資料の送付をすべきである。 ⑤ スポーツ観光という点で、バレー、野球、柔道と効果がでている。今後、鹿島市に誘致されている陸上関係にも働きかけてはどうか。 3 嬉野中の総合学習成果について ⑥ 先般、嬉野中3年生の生徒が、それぞれグループを組んで、観光問題を含め、各種の研修を重ねて、その成果の発表会があった。今後の施策に反映できるものが多々あり検討に値すると思うが。
市長 教育長	教育問題について	1 子供たちのメディア依存について ① NPO 法人「子どもとメディア」(福岡市)が福岡市内の小中高生を対象にメディア依存について調査をしている。本市において携帯電話やパソコン、電子ゲームなどの使用で調査された経緯があるか。 2 武道必修化について ① 本市の各学校における武道の採用はどのようになっているか。 ② 柔道の採用については、各種の問題が指摘されている。本市で柔道が採用されるとするならば、その対策は講じられているか。

		<p>3 生徒の読書について</p> <ul style="list-style-type: none">① 本市における不読率（1ヶ月間に本を全く読まない）と読んだ平均冊数はどうか。② 「朝読」や「読后感想」など読書に関心を抱かせる企画は、いかに実行されているか。
--	--	--

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 24年 2月 24日

通告者(議席番号 6番)

小田 寛之

嬉野市議会議長 様

記

NO

質問の相手	質問の事項	質問の要旨 (具体的に)
市長	市有の処分場について	各地域は、区役で行っている水路や路上周辺の除草等ででた草や泥の処分に困っておられる。また、市道脇から刈られた草を私有地で処分されている状況もある。 法的な問題も考慮しなければならないが、市有の残土処分場を整備できないか。